



## 山本 佳奈

大阪芸術大学／キャラクター造形学科  
2019年卒業

### 略歴

卒業後は、非常勤助手として2年ほど勤務した後、フリーランスとして活動開始。

2021年 四季賞秋 準入選受賞。

2023年 月刊ガンガンJOKER  
8月号にて読み切り漫画を掲載。

2024年 月刊ガンガンJOKERにて  
「絵咲かなで」名義で秋頃より  
連載開始予定。

是非読んでいただけると嬉しいです。



四季賞2021秋  
準入選受賞作品



X (旧 Twitter)  
アカウント



MANGA サミット展示用のカラー絵

推薦者／大阪芸術大学 キャラクター造形学科  
学科長 里中 満智子

## 自信は過程から

私は、2年間別の短期大学を卒業した後、大阪芸術大学へ3年生から編入学しました。幼い頃から漫画家になりたいと思っていましたが、一旦保育系の短期大学へ通い、別の分野を学ぶことで、やっぱり漫画家になりたいという思いがより強くなり、編入学いたしました。

実習授業では、自分が描いた漫画を初めて人に読んでもらいました。

人生で初めてのあのドキドキと、「面白いね!」と言ってもらえたことは今でも覚えています。担当の先生とは、ストーリーを相談しながら、ネームを見せては直す作業を繰り返し、ブラッシュアップしていました。

そして、プライベートで東京に行く機会があったので、その漫画を出版社に持ち込むことにし、早めに予約を抑えていました。持ち込みの日まであと1週間に迫った頃、私はほぼ完成に近い原稿を、大学で失くしてしまいました。

大きな校舎の中を何周もして、3時間ぐらい探しましたが、結局見つかりませんでした。途方に暮れていたのですが、「いや、あと1週間ある。」と考え直し、残りの日程で「描いていた漫画の原稿が紛失した」というお話をテーマに、新しく漫画を完成させ、編集部を持ち込みに行きました。もちろん、評価は撃沈。

一応賞に提出しましたが、箸にも棒にもかかりませんでした。

これらを後日、担任の先生に連絡したところ、「締め切りを間に合わせるのは漫画家の基本です。諦めずに完成させたことは素晴らしいです!」と励ましのお言葉をいただき、涙を流したのはいい思い出です。

作品を完璧に作り込むことや、納得がいくまで直すことも大事ですが、まず最初は締め切りに間に合わせるのが大事なんだと、これらの経験や先生からのお言葉で学びました。

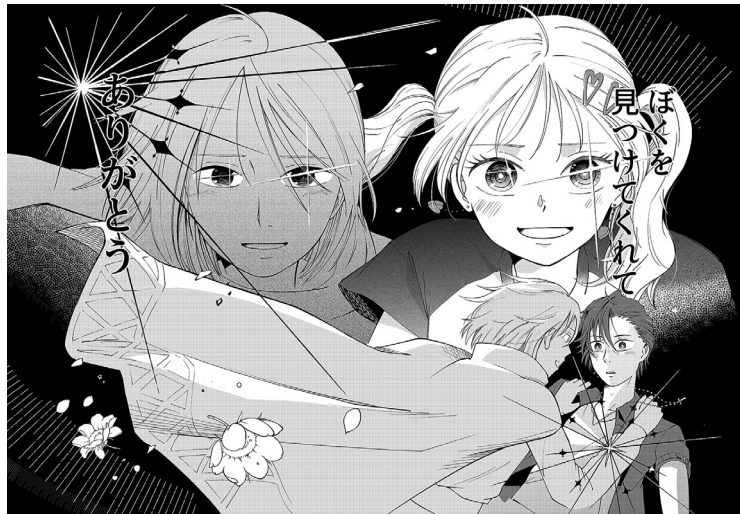
「私、あの時諦めなかった。」この自信が、今も原稿を描く力になっています。



月刊ガンガンJOKER 8月号に掲載された際の扉絵。



「ギャルおじ声優!」冒頭シーン



「ギャルおじ声優!」見開きシーン